

# 山形県危険物安全協会連合会 令和2年度 事業報告

## 1 会議の開催

### (1) 総会

令和2年6月23日(火)書面会議(新型コロナウイルス(以下新型コロナ)感染防止)

- ・令和元年度事業報告並びに同決算報告について
- ・令和2年度事業計画(案)並びに同予算(案)について
- ・役員会への補正予算等の委任について ほか

### (2) 役員会

第1回 令和2年6月4日(木)書面会議

- ・総会に提出すべき事項

第2回 令和3年2月25日(木) パレスグランデール

- ・令和2年度事業執行状況並びに同予算執行状況
- ・就業規程、給与規程の改正について
- ・令和3年度事業計画(案)並びに同暫定予算(案)
- ・役員改選について ほか

(3) 監査 令和2年5月22日(金) 村山総合支庁

(4) 危険物保安講習推進会議 令和2年5月20日(水) 村山総合支庁

## 2 法人化に向けた取組み

現時点で、法人化することのメリットは見当たらない。デメリットも見当たらない。必要に応じて役員会に諮る。

## 3 ホームページによる広報活動

当連合会等の事業内容や保安講習の開催日程等の情報を提供した。特に、保安講習受講者に対しては、講習会の回数増の情報など、新型コロナ対応について、適宜、情報提供し、希望者全員が受講できるよう努めた。

## 4 表彰事業の推進

(1) 消防庁長官表彰・全国危険物安全協会理事長表彰

新型コロナ感染防止のため表彰式は中止。表彰状と記念品は郵送。

- ・全国危険物安全協会理事長表彰  
会員表彰(個人) 伊藤 喜一 氏(理事 高島町会長)  
優良危険物関係事業所 山形酸素株式会社

(2) 山形県危険物安全協会連合会会長表彰等

新型コロナ感染防止のため表彰式は中止。表彰状と記念品を郵送。

- ・特別表彰 2件 優良事業所 21件 優良従事者 5件  
感謝状 1件

(3) 消防関係者山形県知事表彰(安全功労章)

表彰式 令和2年10月18日(火)

保安功労者章 大江 陽一 氏(監事 東根市会長)

## 5 図書等の斡旋

各地区危険物安全協会が実施する危険物取扱者試験準備講習へ全危協編纂図書を斡旋。  
922 冊(法令編 274 冊 実務編 273 冊 乙 4 300 冊 甲乙(12356) 33 冊 丙 42 冊)  
参考 令和元年度 1,117 冊

## 6 関係機関との連絡調整

- (1) 各都道府県危険物安全協会連合会事務局長会議 (中止 新型コロナ感染防止)
- (2) 全国危険物安全大会 (中止 同上)
- (3) 東北・北海道ブロック各危険物安全協会連合会会長・事務局長会議 (中止 同上)
- (4) 各都道府県危険物安全協会連合会会長等研修会 (中止 同上)
- (5) 東北・北海道ブロック各危険物安全協会連合会事務局長・担当職員会議 (中止 同上)

## 7 危険物取扱者保安講習の実施

- (1) 山形県の委託を受けて、危険物取扱者保安講習を実施。

申請件数：2,358 件 (前年比△129 件、参考 H29：2,336 件)

期間：令和 2 年 8 月～12 月

開催回数：29 回 (新型コロナ対応 4 回増)

地区別開催状況

開催地	一般	給取	石コ	合計	備考
山形市	4	2	-	6	一般 1 回増
米沢市	4	1	-	5	一般 1 回増
三川町	5	2	-	7	一般 1 回増
酒田市	-	-	1	1	
長井市	2	1	-	3	
寒河江市	1	1	-	2	
新庄市	1	1	-	2	
村山市	2	1	-	3	一般 1 回増
合計	19	9	1	29	

- (2) 未受講者発生防止を図るため、各種手法により、集中的な広報・啓発を実施した。

- ・開催案内の小型ポスターを作成し、地区安全協会を通じて各事業所に配布
- ・約 2300 箇所の事業所に書面で講習日程を知らせ、職員の積極的受講を勧誘
- ・ポスターを作成して配布・掲示依頼
- ・市町村等と連携し、広報紙等を活用して講習会等開催日程の周知を促進
- ・消防署等の立入検査等で未受講を確認したときの受講指示の促進

- (3) 「3 年後受講はがき」活用による受講の促進

「3 年後の講習受講と講習日程等のお知らせ(3 年後受講はがき)」制度により、受講者あて通知を実施した。制度の利用促進について各保安講習開催時に案内した。

令和 2 年度は、受講者の 72% から制度活用の希望があった。

## 8 定期点検事業者認定制度事務の実施

- (1) 定期点検認定等事務 認定等事務件数 2 件
- (2) 点検済証交付事務 交付枚数 525 枚
- (3) 認定指導員による実態調査 中止 (新型コロナ感染防止)

## 9 公益事業の推進

### (1) 危険物安全週間のPR事業

- ・危険物安全週間用ポスター 2,000枚
- ・小冊子「知って納得!!危険物」 2,100部
- ・小冊子「事故防止チェックリスト」 200部
- ・DVD「危険物施設の異常を感知せよ」 18部

### (2) 全危協の公益事業基金助成事業を活用した危険物防災広報啓発事業を実施。

- ・危険物保安講習に係る地区協会広報事業（16地区協会への助成事業）

市町村広報誌等を活用し、危険物取扱者保安講習の開催日時等の広報が図られた。

助成額 16地区協会への合計額 383,060円（振込手数料込み。保安講習費）

助成金額＝事業所数×120円＋定額

定額の区分

定額の区分	事業所の数		定額の額（円）
		100未満	
100以上	200未満		15,000
200以上	300未満		20,000
300以上			25,000

- ・危険物取扱施設の安全向上事業（保安講習費）再掲  
事業所への案内送付、3年後案内はがき、ポスター、次回受講年通知カード

## 10 火薬類取扱保安責任者試験の実施

### (1) 公益社団法人全国火薬類保安協会の委託を受けて、試験事務を実施。24名受験

### (2) 試験問題作成及び採点は全火協。県危連は試験実施及び結果通知。

9月29日(火)～10月8日(木) 願書受付

12月20日(日)

試験実施(試験会場:山形国際交流プラザ内)

2月12日(金)

合格者発表、結果通知送付

(甲種18名中12名、乙種6名中2名合格)

## 11 火薬類保安教育講習等の実施

公益社団法人 全国火薬類保安協会からの受託事業。

全火協の指示により、保安教育等講習は、新型コロナ感染拡大防止のため、講習会形式を取りやめ、受講者との資料のやり取りを行う自宅学習方式に変更して実施。

火薬類取扱保安責任者試験に向けた試験準備講習は、講習会形式により実施。

保安教育講習等 67名(自宅学習)

再教育講習 7名(自宅学習)

試験準備講習 10名(山形市内 1回実施)

山形県危険物安全協会連合会 令和2年度決算報告

(収入の部)

科目		予算額	決算額	差異	備考
1	会費	1,270,000	1,270,000	0	
	山形・酒田・西村山 @110,000	330,000	330,000	0	
	米沢・鶴岡・西置賜・天童 @100,000	400,000	400,000	0	
	最上・上山・村山・東根・南陽・高島 @70,000	420,000	420,000	0	
	尾花沢大石田・山辺・川西 @40,000	120,000	120,000	0	
2	助成金	700,000	700,595	595	
	危険物保安講習助成金	300,000	367,580	67,580	
	公益事業基金助成金	120,000	73,000	△ 47,000	
	図書斡旋手数料	280,000	260,015	△ 19,985	
3	受託金	12,512,600	11,552,284	△ 960,316	
	危険物保安講習受託金(2400件)	9,719,600	9,752,688	33,088	
	定期点検広報事務受託金	70,000	70,000	0	
	定期点検認定等事務受託金	63,000	6,000	△ 57,000	
	点検済証交付事務受託金	30,000	39,300	9,300	
	認定指導員実態調査事務受託金	100,000	0	△ 100,000	
	火薬類試験業務受託金	620,000	601,216	△ 18,784	
	火薬類保安講習等業務受託金	1,560,000	810,280	△ 749,720	
	火薬類試験準備講習受講料	350,000	272,800	△ 77,200	
4	人件費負担金	640,000	631,000	△ 9,000	
	人件費負担金(消防設備協会)	640,000	631,000	△ 9,000	
5	雑収入	52,000	912	△ 51,088	
	預金利子	1,000	476	△ 524	
	講師研修会旅費(全危協)	50,000	0	△ 50,000	
	所得税還付	1,000	194	△ 806	
	雑入	0	242	242	
当期収入合計		15,174,600	14,154,791	△ 1,019,809	

支出の部

科目		予算額	決算額	差異	備考
1	会議費	500,000	152,286	347,714	
	会議費(総会費、役員会費)	500,000	152,286	347,714	
2	事業費	8,652,000	7,700,933	951,067	
	定例表彰費	210,000	243,782	△ 33,782	
	危険物保安講習費	7,230,000	6,844,477	385,523	
	事務担当者研修費	0	0	0	
	連絡調整費	440,000	35,853	404,147	
	公益事業費	155,000	157,120	△ 2,120	
	ホームページ運営費	132,000	133,430	△ 1,430	
	認定指導員実態調査費	80,000	0	80,000	
	火薬類試験実施費	75,000	55,520	19,480	
	火薬類保安講習費	110,000	73,856	36,144	
	火薬類試験準備講習費	220,000	156,895	63,105	
3	事務費	5,255,000	5,203,996	51,004	
	人件費	3,752,000	3,803,000	△ 51,000	
	福利厚生費	650,000	608,371	41,629	
	消耗品費	60,000	31,008	28,992	
	通信運搬費	170,000	159,615	10,385	
	使用料及び賃借料	460,000	447,632	12,368	
	財務・会計整理、会計ソフト保守	143,000	143,330	△ 330	
	交際費	20,000	11,040	8,960	
4	負担金	205,000	204,160	840	
	全危協、社会保険協会 会費	205,000	204,160	840	
5	公租公課	522,000	432,100	89,900	
	消費税、市県民税	522,000	432,100	89,900	
当期支出合計		15,134,000	13,693,475	1,440,525	

当期収支

(当期収入合計－当期支出合計)

461,316

当期繰越金(前期繰越金＋当期収支額)

6,234,455＋461,316＝

6,695,771